

井之頭小学校 基本方針（修正案）

原案

① 互いの個性を尊重し、協働しながらすすんで学ぶ姿勢を育む施設

かわせみ教室を通じて、児童、地域、保護者に「みんなちがって、みんないい」を伝える授業方針を踏まえ、互いの多様性を認め合い、協働しながら主体的・対話的に考え行動する子どもの育成を支える施設を目指します。

② 自然を通じた探究的な活動と、地域・保護者との協働的な活動を支援する学校

愛鳥活動や、児童に愛されているビオトープを活用した授業など、自然環境への関心を培う校風と、「井之頭まつり」「防災宿泊体験」など、地域・保護者と連携した子どもたちのための活動を支援する学校を目指します。

③ 知・徳・体をバランスよく育み、未来にわたって自ら学び続け、社会で「生きる力」を身に付けることができる学校

知（確かな学力）、徳（豊かな心）、体（健やかな体）にわたる「生きる力」を育み、学校で学んでいる間だけでなく、生涯にわたって自ら学び続けられるようになることを目指します。

小澤校長先生案

① 子どもたちが多様な他者と協働し、主体的に学ぶ姿勢を育む施設

道徳、人権教育や「かわせみ教室」を中心とした特別支援教育の充実を通して、互いの個性を尊重し、多様な他者と協働しながら主体的に考え行動する子どもの育成を支える施設を目指します。

② 地域環境の活用や地域との連携・交流を充実させる施設

井の頭公園の活用、愛鳥モデル校としての活動、ビオトープの活用など自然環境への関心を培う校風と、「井之頭まつり」「防災宿泊体験」など地域・保護者と連携した子どもたちのための活動を充実させる施設を目指します。

③ 知・徳・体をバランスよく育み、「生きる力」を身に付けることができる施設

学習や教育の変化に対応しながら主体的・対話的で深い学びを推進することを通して、知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（すこやかな体）をバランスよく育むことができる施設を目指します。

いただいたご意見

- ・ ①はどこで切ればいいかわからない。校長先生の案がいいと思う。
- ・ 「みんな違ってみんないい」ではなく、今の時代は「みんな違って大変だ」を伝えたほうがいいのではないか。
- ・ 特別行事ではなく、日常活動を想起する言葉の方が良いのではないか。
- ・ 語尾に統一感をもたせたほうがいいのでは。学ぶことなら「学校」、地域と協働などなら「施設」、など。
- ・ 長すぎず、誰でも見やすい文言にまとめたほうがいい。
- ・ 第三期武蔵野市学校教育計画よりももっと先を見通した方針としないのか。
- ・ 具体的なワード（「みんな違って～」など）は外したほうがいいのでは。
- ・ ソフトの方針なら、「学校」「施設」といった言葉はなくて良いのでは。

修正案

① **子どもたちが多様な他者と協働し、主体的に学ぶ姿勢を育む施設**

互いの個性を尊重し、多様な他者と協働しながら主体的に考え、行動する子どもの育成を支える施設を目指します。

#すすんで学ぶ子 #心豊かな子 #かわせみ教室

② **地域環境の活用や地域との連携・交流を支える施設**

井の頭公園の活用、愛鳥モデル校としての活動、ビオトープの活用など自然環境への関心を培う校風と、地域・保護者と連携した子どもたちのための活動を支援する施設を目指します。

#井の頭公園 #愛鳥モデル校 #ビオトープ #防災宿泊体験 #井之頭まつり

③ **知・徳・体をバランスよく育み、未来にわたって自ら学び続ける力を育む施設**

知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（すこやかな体）にわたる「生きる力」を育み、将来どのような課題や社会情勢の変化があっても、能動的に学び続け、自らの人生を切り拓くことのできる力を育みます。

#第三期武蔵野市学校教育計画